

1. 評価ワークショップ実施の背景

本校SGHの課題研究発表ルーブリック

- ✓ これが全部できたらグローバルリーダーなのか？
- ✓ 教員が見えていない資質、プレゼンや発表に現れない資質、個性・創造性も評価したい

| | 課題研究内容 | | | | プレゼンテーション | | | 総合 |
|---|---|---|---|-------------------------------------|---|---------------------------------------|-----------------------|---|
| | 課題設定 | 調査が十分 | 論理的に分析 | 提言 | 構成・説明が明確 | パフォーマンス | 声量 | 情熱・チームワーク |
| 5 | 研究対象を深く理解した上で課題を設定し、オリジナリティも高く、研究の意義が明確である。 | 実際に周到な調査及び正確な資料を収集している。また、典拠がきわめて明確に示されている。 | 結論や結果が揺るぎない根拠に基づいて示されており、理路整然と論理的に主張が展開できている。 | オリジナリティがあり、かつ現実社会でも十分実現可能な提言となっている。 | 聴衆が理解できるよう、また聴衆をひきつけるように十分に工夫されており、説明の順序立ても適切である。根拠や結論が明確に示されている。 | 発表は自信に満ちており、聴衆を魅了するほどの卓越した表現技法を用いている。 | 聞き取りやすく、話すスピードも適切である。 | チームの中で役割分担ができており、各員が情熱をもって、自らの役割を十分に果たしている。 |
| 4 | 研究対象を深く理解した上で課題を設定し、研究の意義が明確である。 | 正確な資料を収集している。また、典拠がきわめて明確に示されている。 | 結論や結果が根拠に基づいて示されており、論理的に主張が展開できている。 | / | 聴衆が理解できるように十分に配慮し、根拠や結論などが明確に示されている。 | / | / | チームの中で役割分担ができており、各員が自らの役割を果たそうと努力している。 |
| 3 | 研究対象を深く理解した上で課題を設定し、研究の意義を示すことができる。 | 正確な資料を収集している。 | 結論や結果が示されているものの、根拠が不十分である。主張の展開の論理性が弱い。 | オリジナリティのある提言となっている。 | 聴衆が理解できるように配慮し、根拠や説明が示されている。 | 発表は自信に満ちたものとなっている。 | 聞き取りやすい。 | チームの中で役割分担ができています。 |
| 2 | 研究対象を理解した上で課題を設定することができている。 | 資料を収集しているが、不適切な点がいま見られる。 | 結論や結果が示されているものの、根拠がない。もしくは結論や結果が明確に示されていない。 | / | 聴衆の理解を考慮に入れておらず単調な説明で、根拠や結論などの構成が一部不十分な点が見られる。 | / | / | 特定のメンバーに仕事が集中し、役割分担が不明確となっている。 |
| 1 | 研究対象に対する理解が不十分のまま課題設定をしている。 | 調査や資料の収集が不十分である。 | 結論や結果が示されていない。 | ありふれた提言にとどまっている。 | 分かりにくく、根拠や結論などの構成が不適切である。 | 発表が自信なさげなものとなっている。 | 小さな声で聞き取りにくい。 | チームがバラバラで、情熱が感じられない。 1 |

評価ワークショップの目的

- SGHのカリキュラムを振り返り、自己の成長、強み弱みを認識する。
- 自己評価と他者評価の違いを認識し、自分を客観的に見る大切さを学ぶ。
- 他のメンバーの改善を促すために、どのような指摘をどのような態度ですればよいかなどのスキルを学ぶ。将来、異文化の人たちとチームとして働く際にも使えるようにする

→ 正論をいうのが正しいとは限らない

評価ワークショップ

- ①自己評価
- ②他者評価（生徒同士）
- ③お互いの長所・短所を伝え合う

→コミュニケーションのテクニック向上

改善点を伝える→**アクティブリスニング**

アクティブリスニング

- ①人格ではなく、行動を指摘する
- ②状況から聞いて、たくさん語らせる←ACTIVE LISTENING
 - ・あの時は何があったの？
 - ・何があれば解決したの？
- ③feedbackしている人にとって良いのではなく、feedbackされている人にとって良い、という姿勢で

良い例・悪い例のデモを見せる
「防衛反応」「反撃」

「話が深まらない」「防衛反応・反撃がでた」のカードをあげさせる

2. 評価ワークショップの内容

| 大阪府立三国丘高等学校SGH 評価ポートフォリオ | | 年 組 番 氏名 () No.1 | |
|--------------------------|---------------|---|-----|
| <リーダーとしてのスキル> | | ◎とても成長した ○成長した △あまり成長できていない | |
| 分野 | 項目 | 項目の説明・意味など ◎○△ | 具体例 |
| 1 課題解決能力 | ・ロジカルフレームワーク | ADBが対象とする国や地域の問題点などについて、原因と結果の分析を行い、開発援助の計画の際に用いる理論的役割。 | |
| | ・分析力 | 多面的に物事を分析する力。SWOT分析、PEST分析など様々な分析方法がある。 | |
| | ・論理的思考力 | 情報を収集し多面的に分析しながら論理的に思考し、解決策を見出す力。 | |
| 2 チームワーク | ・プロジェクトマネジメント | プロジェクトの全体を見渡し、目的達成に向けて必要な措置を講じながら推進していく力。 | |
| | ・ファシリテーション | プロジェクトをけん引しながら、メンバーと共に実際に進めていく力。 | |
| | ・フォローアップ | 目的達成にむけて、リーダーを補佐しプロジェクトを進めていく力。 | |
| 3 コミュニケーション能力 | ・英語運用能力 | 英語でプレゼンができた、コミュニケーションを取ることができる力。(TPOにあわせた対応ができることなど) | |
| | ・プレゼンテーション能力 | オーディエンスの立場に立って、PPTやポスター等を使いながらわかりやすく効果的なプレゼンができる力。 | |
| 4 リーダーとしての自覚 | ・遂行力 | 様々な困難に直面した時最善の解決方法を考え、実践し、プロジェクトを成し遂げたり、やり通す力。 | |
| | ・覚悟 | 様々な困難が待ち受けているのを覚悟しつつ、よりよい状況をつくりだすために自己犠牲をいとわず挑んでいく力。 | |
| | ・専門性 | 推進しているプロジェクトに係る分野に高い専門性を持つ、あるいは専門性を持つべく積極的に学ぶ力。 | |
| | ・オープンマインド | 仕事仲間を尊重し、出会いに対して臆病にならず、関係を築くことができる力。 | |

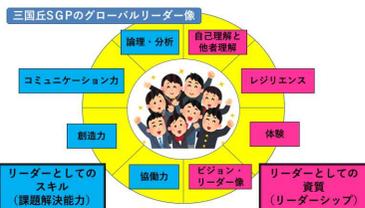
生徒記入欄
自己評価と
他者評価は
色をかえて

| 大阪府立三国丘高等学校SGH 評価ポートフォリオ | | 年 組 番 氏名 () No.2 | |
|--------------------------|------------------|---|-----|
| <リーダーとしての資質> | | ◎とても成長した ○成長した △あまり成長できていない | |
| 分野 | 項目 | 項目の意味 ◎○△ | 具体例 |
| 5 自己理解と他者理解 | ・自分や自国の理解 | 自分史等を通して自身の長所と短所、適性や傾向を理解する。また、日本についても理解を深める。 | |
| | ・多様性の理解 | 様々な価値観に触れ、自分と異なる価値観を理解し容認することができる。 | |
| | ・異文化共生 | 異文化の人々とお互いの文化を尊重しながら共同作業ができたり一緒に暮らしたりできる力。 | |
| 6 レジリエンス | ・失敗・挫折の経験 | 失敗や挫折の経験することを恐れず、挑戦する心を持つ。 | |
| | ・反省と前進 | 失敗や挫折の経験、そして反省をすることを通して更なる高みへ向かって前進する向上心。 | |
| 7 体験 | ・挑戦 | 未体験の事柄に積極的に挑戦する姿勢。 | |
| | ・フィールドワーク | はじめて訪れる土地でフィールドワークを行い、その土地の情報を集めたり、人々と触れ合ったりして目的を達成する。 | |
| | ・新たな視座 | 予期せぬ状況に出くわしたとき、新しい価値観、新しい視点から物事を分析し、軌道修正できる。また、後にそれを自分の新しい指針として取り入れることができる。 | |
| | ・現場力 | 予期せぬ状況にすぐに対応し、機転を利かす力。また、まわりへの気配りを忘れず、判断を下し、プロジェクトを遂行する力。 | |
| 8 創造力と未来予測 | ・マインドマップ/設計のプロセス | Creativeなアイデアを出すためのプレストやマインドマップ、設計のプロセス(共感、定義、考察、試作、検証)を理解している。 | |
| | ・創造的課題解決策の考案と実践 | 上記のスキルを使って創造的問題解決策を考案し、それを実践していくことができる。 | |

感想記入欄

より詳しい説明

自分が◎○△をつけたい欄だけ書かせる



2. 評価ワークショップの内容

◎とても成長した ○成長した △あまり成長できていない

| ◎○△ | 具体例 |
|-----|---|
| ◎ | 自分について人間がどう理解しているのかが、日本についても政治面とかは興味がある。 |
| ○ | 自分と意見が異なっても、その意見と相手と意見を冷静に分析してお互い意見をだせる。 |
| △ | 日本が恋しくなるので、 <i>アメリカの思いやり</i> 、長期間は厳しい。 |
| △ | 入試も落ちたから、今のところまだ落ちたような挫折はない。 |
| ○ | 未婚期間が、自分の興味がおける、 <i>知らないこと自信がたつ</i> 、自発的に調べ、 <i>興味あると速断</i> 。 |
| △ | 必死になると、 <i>アメリカで開けたら</i> 、月1が見えなく生きることがある、 <i>マイペース</i> 。 |
| ○ | 日常的によく使う。 |

自己評価は鉛筆で記入

◎とても成長した ○成長した △あまり成長できていない

| ◎○△ | 具体例 |
|-----|---|
| ◎ | 理由を説明できる。 |
| ○ | 期待が見えなくて、空気がよめにくいがある。人の話を流している。 |
| ○ | 今まで使ったことがなかったけど、何回かプレゼンすると、回数が増える。プレゼンが楽しくていいから、プレゼンがたまたま出来た。 |
| ○ | 努力できる。 |
| △ | めんどくさいことは極力避けて、できれば誰かにやってほしいと思うことがある。それに対する前のプレゼンでは、今まで気づかなかった、相手のことをたたくこと、自分から調べて情報を提供するから、人と話したり自分の意見を言うことがとても上手に出来た。プレゼンでも、たまたまうまくいったものを作っていくことができた。 |
| | 自信でも楽しんで話せる |

他者評価は色ペンで記入

2. 評価ワークショップの内容



自分の長所や
特性を知る

チームビルディング
異文化の人との協働力



改善してほしいときは
周りの状況から…

SSHも採用